



フューチャーズ24情報・マンスリーレポート 2017年9月号

◆ 8月の相場概況

●金相場

・NY金

8月前半は北朝鮮情勢と米物価統計のさえない内容で買われ1290ドル台後半に上昇し、6月に付けた年初来高値に迫った。

8月後半はトランプ米大統領の政権運営能力や経済政策の実現性に懐疑的な見方が強まったことや、イエレン米FRB議長の講演結果で追加利上げ観測が後退したほか、北朝鮮の弾道ミサイル発射による地政学的リスクで急伸。1300ドルの節目を突破し、年初来高値を更新した。

・東京金

8月前半はレンジ取引。後半はNY金相場の急伸や為替の円安・ドル高などで買われ急伸、29日に3月に付けた年初来高値を突破し、31日には約2年2カ月ぶりの高値となる4628円を付けた。

●白金

NY白金は供給減速見通しや北朝鮮情勢の緊迫化に加え、テクニカル要因も買い材料となり上昇し、1000ドルの節目を突破した。

東京白金はNY相場高やパラジウム高による買いに月末にかけて上昇。先限は約5カ月ぶりに3500円台を回復。

●NY原油

中国の需要鈍化への不安や、米原油在庫がハリケーン「ハービー」の影響で積み上がるとの懸念などから売られ、約1カ月ぶりの安値を付けた。

●穀物相場

シカゴ穀物は米国産の豊作見通しなどを背景に軟調に推移し、コーンは年初来安値を更新

◆ 9月の相場見通し

●金相場＝リスク台頭なら上値を迫る展開に

NY金は、北朝鮮をめぐる地政学的リスクと米国の政治リスクのほか、9月米FOMCで年内の米利上げ観測が後退すれば、2013年9月以来となる1400ドルを突破し、上値を迫る展開になることが予想される。

●白金相場＝上昇傾向

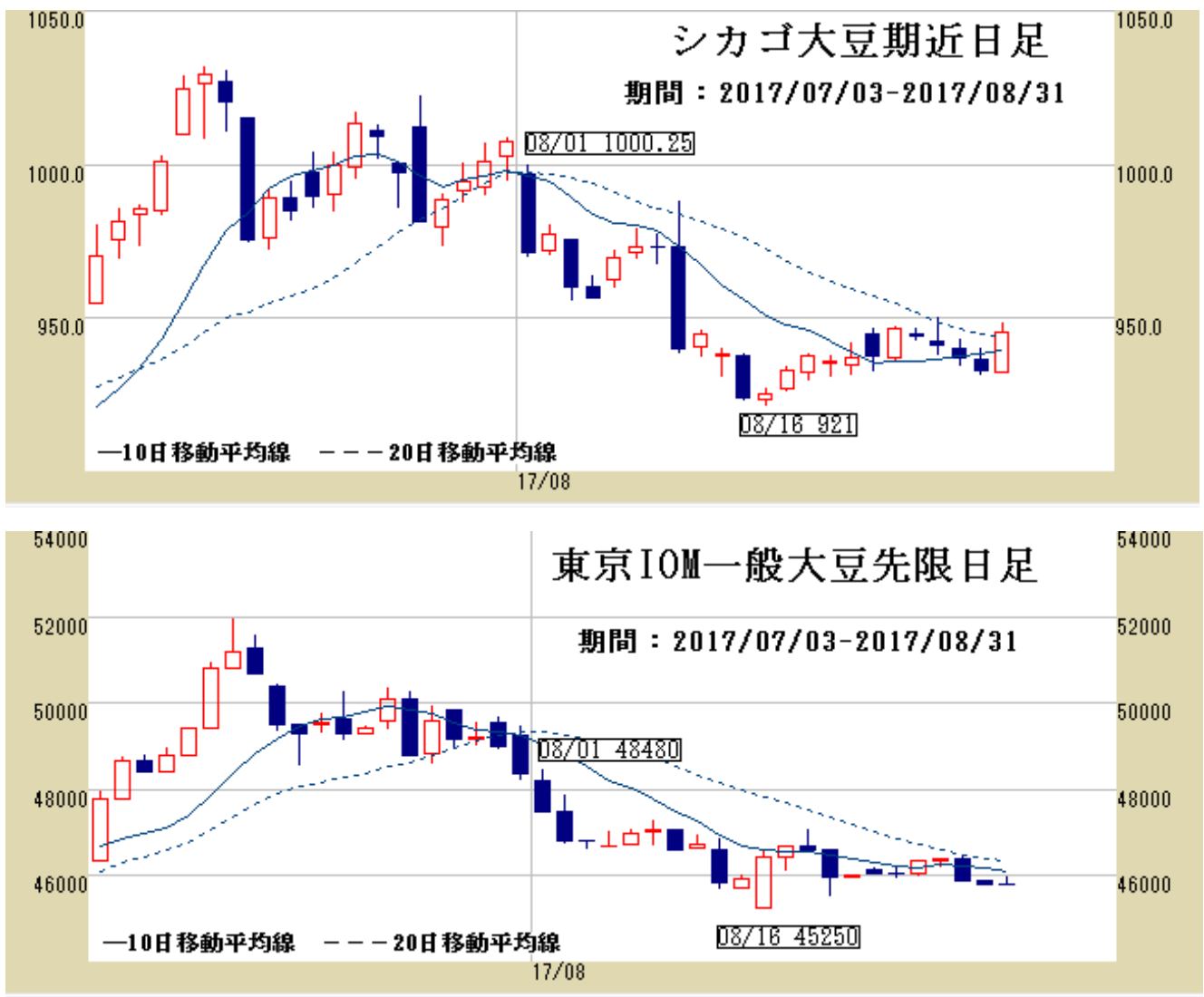
金相場が北朝鮮をめぐる地政学的リスクなどを背景に上昇することが予想されるほか、パラジウム価格の上昇も支援材料となり、上昇傾向になるだろう。

●原油相場＝戻り売り局面か

NY原油は米ドライブシーズン終了や、石油精製施設の定期修理などによる需要減退懸念により、戻りは売られる可能性が高い。

●穀物相場＝大豆は上値を伸ばす場面も

シカゴ大豆は大豆油相場の上昇基調が継続すれば、1000セントの大口を試す場面も。シカゴコーンは米国産の豊作見通しで下落基調を辿り、年初来安値を試す場面が予想される。



◆大豆相場概況（8月）

●8月のシカゴ大豆＝途中下げ渋りながらも比較的軟調に推移

8月前半は、米国産大豆の作柄状況が改善するとの見方が広がり、これがイールド増加予測につながったことから売り優勢の展開。途中、米中西部産地の天候悪化を受けて下げ渋る場面もあったが、10日に米農務省が需給報告を発表すると、米国産大豆のイールド見通しが予想外に引き上げられたことから豊作観測が広がり、同日のシカゴ大豆は売りが殺到。指標11月限は950セントの節目を割り込んだ。その後も豊作観測が相場の重しとなり、16日の取引では921セントの安値を付けた。

8月後半は、前半の下落トレンドに対する反動から安値拾いの買いが見受けられる中、堅調な中国の需要も買い戻しの流れを強める格好。さらに米商務省が22日に、アルゼンチンなどから輸入する大豆由来のバイオディーゼルに反ダンピング税を課すと仮決定し、これを受けて国内需要が高まるとの観測が広がり大豆油相場が上昇したことにも追随したため、一時は950セントの節目を再度回復。その後は、テクニカル的な売りに押されたほか、米国産大豆の作柄改善を受けて豊作観測が再度高まったことから値を崩したが、月末31日は売り過剰感などからの買い戻しに支えられて水準を戻した。



◆とうもろこし相場概況（8月）

●8月のシカゴ・トウモロコシ=年初来安値を連日更新する場面も

8月前半は、商品調査会社INTL・FCストーンの米国産トウモロコシのイールド見通しが米農務省予測を大幅に下回ったことを好感する向きからの買いなどに支えられ、堅調に推移する場面もあった。しかしその後は、トウモロコシ買い・大豆売りのスプレッド取引の巻き戻しの動きを受け、大豆に対して値下がりしたほか、10日の米農務省需給報告でイールド予測が市場予想を上回ったことも下げ足を強め、下落局面へと転じた。

8月後半は、前半の下落トレンドを引き継ぐ中、世界的に潤沢な供給も相場の重しとなり、23日の取引では6月30日以来となる360セントの節目割れを演じた。その後も、クローブツアーでミネソタ州南部とアイオワ州東部において平年を上回るイールド見通しが確認されたことや、米トウモロコシの収穫高に対する楽観的な見通しを背景に売りの流れが加速。28日から30日にかけて年初来安値を連日更新したが、月末31日は売られ過ぎ感が高まったためか下げ止まる格好となった。

◆穀物相場展望

●9月の穀物展望

◆大豆

9月に入ってからのシカゴ大豆は、8月末に買い戻しが殺到した流れを引き継ぐ中、大豆由来のバイオ燃料に絡んだ米国とアルゼンチンの対立を眺め、大豆油相場が上昇トレンドを維持していることにも支えられる格好。指標11月限は970セント付近まで上昇している。

米中西部産地では生育に適した天候が続いていることから作柄が改善傾向にある中、米農業調査会社プロファーマーは8月25日、クローツツアーの結果を基に今年の米国産大豆の生産高見通しを発表。10日の米農務省予測を下回りながらも過去最高になると見通したほか、大豆のイールドは今後さらに増える可能性について指摘するなど、日増しに米国産大豆の豊作観測が強まっている。

一方、米商務省がアルゼンチン産バイオ燃料に反ダンピング税を課すとの仮決定をし、それ以降は米国とアルゼンチン間で非難の応酬が繰り返されているが、反ダンピング税が実際に実施されれば米国内での需要が伸びるとの期待感が強まっており、こうした背景から大豆油相場は8月後半以降に上昇トレンドを継続。シカゴ大豆の支援要因となっている。

米国産大豆の豊作観測には注意が必要となるものの、バイオ燃料改善問題をめぐる米国とアルゼンチンの対立などを受けた大豆油相場の上昇トレンドが今後も続くようならば、9月のシカゴ大豆は上値を伸ばし、8月1日以来となる1000セントの大台乗せを試しに行く予想する。

◆トウモロコシ

9月に入ってからのシカゴトウモロコシは、8月末の下げ止まった流れが一服。世界的に供給が過剰状態であることが相場を圧迫し続けている上に、米国産トウモロコシの収穫高に関する楽観的な見通しも嫌気され、頭重さの目立つ値動きとなっている。

米テキサス州南部を直撃したハリケーン「ハービー」の影響で製油所の操業停止が相次ぎ、これを受けてNYガソリンが急騰。これがエタノール需要増加観測につながったことを8月末に買い戻しが殺到した一因とみる向きもある。トランプ米大統領はエタノール産業支援を公約に掲げており、こうした流れは公約実現に追い風となる可能性もあるが、トランプ氏の政策運営能力については懐疑的な見方も根強く、先行きは不透明。

一方、トウモロコシも大豆同様に米国での豊作見通しが広がっており、シカゴトウモロコシを圧迫し続けている。プロファーマーの予測では、今年の米国産トウモロコシの生産高は大豆と同じく米農務省予測を下回ったものの、高水準であることに変わりはない。

また、9月～11月にかけては米産地で収穫期に入り、ハーベストプレッシャー（収穫期の売り圧力）が意識され始めるため、豊作見通しや供給過剰懸念の根強さも踏まえると、9月のシカゴトウモロコシは再び下落トレンドを辿ると予想。指標12月限は8月末に付けた年初来安値（344.25セント）を再度試すことを想定したい。

◆穀物需給動向

●今年の米大豆生産、過去最高43.3億ブッシェル＝プロファーマー予測

米農業調査会社プロファーマーは8月25日、2017年の米国産大豆の生産高は過去最高の43億3100万ブッシェル、トウモロコシは139億5300万ブッシェルになるとの見通しを明らかにした。ただ、いずれも10日発表の米農務省需給報告での予測（大豆43億8100万ブッシェル、トウモロコシ141億5300万ブッシェル）を下回った。

21～24日に米農業情報誌ファーム・ジャーナルが中西部穀物産地7州で実施した年次クロップツアー（実地調査）の結果を基に予測。イールド（単位当たり収量）は、大豆が1エーカー当たり48.5ブッシェル（農務省予測49.4ブッシェル）、トウモロコシは167.1ブッシェル（同169.5ブッシェル）とみている。

プロファーマーは今年の作物について「未成熟で、作柄にばらつきがあり、最終的な生産見通しを出すのは現時点でまだ難しい」と指摘。特にコーンベルト東部のイリノイ・インディアナ・オハイオ各州では、今春の多雨や夏の高温乾燥の影響を受け、その傾向が顕著だった。

西部のサウスダコタ・ネブラスカ両州に関しては、夏の間激しい高温乾燥に見舞われたものの、作物は意外に耐えたと評価。米国全体で、大豆はイールドがさらに増える可能性があるとした上で「両作物はさらなる降雨や日光、成熟のための時間が必要だ」と指摘した。

州ごとの大豆のイールド予測は、オハイオ53.0ブッシェル、インディアナ54.5ブッシェル、イリノイ55.5ブッシェル、アイオワ53.5ブッシェル、ミネソタ48.5ブッシェル、ネブラスカ56.5ブッシェル、サウスダコタ40.5ブッシェル。

トウモロコシのイールド予測は、オハイオ163ブッシェル、インディアナ171ブッシェル、イリノイ181ブッシェル、アイオワ183ブッシェル、ミネソタ184ブッシェル、ネブラスカ180.5ブッシェル、サウスダコタ138ブッシェル。

農務省の統計によると、16年の米大豆の最大生産州はイリノイで、2位はアイオワ、3位はミネソタ。上位3州で全体の生産量の36.2%を占めた。一方、トウモロコシは1位がアイオワ、2位がイリノイ、3位がネブラスカで、全体の44.2%を占めた。

●来年の米大豆作付面積は減少、トウモロコシは増加＝農業誌調査

米農業専門誌ファーム・フューチャーズは8月29日、2018年の作付けに関する農家の意向調査結果を発表。それによると、米国産大豆が前年比3.9%減の8610万エーカー、トウモロコシが2.1%増の9280万エーカーとなった。現時点で、大豆の作付けを過去最高となった今年から減らし、トウモロコシや小麦を増やそうと考えている農家が多いことが浮き彫りとなった。

調査は7月17日～8月2日、電子メールで実施。41州の1183農家から回答を得た。大豆の作付けが減少すれば3年ぶり、トウモロコシが増加すれば2年ぶりとなる。ただ、実際の作付けは今後の価格をにらんで大きく変動する可能性があり、同誌のブライス・クノール穀物市場アナリストは「今回の予測はただのスナップショットだ。市場動向次第ですぐに消えてしまうかもしれない」と説明した。

●ベトナム、米DDGSの輸入停止解除＝米穀物協会が歓迎

米穀物協会は9月1日、米国産のトウモロコシ蒸留カス（DDGS）に関し、ベトナムが輸入停止を解除する見通しだと明らかにした。これを受け、歓迎する声明を発表した。ベトナムは昨年10月、米DDGSが害虫に汚染されていたとして、輸入停止を決定。12月に発動していた。

穀物協会は声明で「ニュースを聞いてうれしく思う」と歓迎。その上で「今回の件は、貿易の流れを妨げる課題にどのように有効かつ徹底的に対処するかを示す例となった」と強調。「強力な通商政策の重要性を再認識した」と述べ、問題解決に携わった両国政府や業界関係者に感謝の意を示した。

DDGSはトウモロコシからエタノールを生産する過程で生じる副産物で、家畜のえさとして使用される。

●米とアルゼンチンで対立＝バイオ燃料課税問題をめぐり

米商務省は8月22日、アルゼンチン産バイオディーゼルに関し、同国が補助金を交付し不当に安く輸出していたとして、相殺関税の適用を仮決定。相殺関税率は50.29%～64.17%とした。これを受け、輸入急増で国内の生産者が被害を受けたとして、関税を課すよう求めていた全米バイオディーゼル委員会（NBB）は「公平な条件で競争できるようになる」と歓迎した。同省によれば、米国の2016年のバイオディーゼル輸入額は、アルゼンチン産が12億ドルだった。

米が反ダンピング（不当廉売）税を課すと仮決定したことに対し、アルゼンチン外務省は24日の声明で、あらゆる選択肢を検討し法的措置を講じる権利を留保すると表明。アルゼンチンは声明で、世界貿易機関（WTO）の規制下のどの方式に照らしても受け入れられないと反発。これを受け、アルゼンチンの業界団体は（最大で）64.17%もの関税がかかるならば、即座に米向け輸出を停止することになると述べた。政府は声明で「政府と民間が一丸となり、状況を精査している。バイオディーゼル生産者に補助金を出す制度はない」と説明した。

また、アルゼンチンの穀物・油実輸出団体（CIARA）は30日、米国の仮決定について「需要が減少し、大豆価格に打撃となる」と批判する声明を発表。CIARAは声明で、米国の措置を「気まぐれで不当」と非難し、課税によりバイオディーゼルの需要が減少すれば「主原料である大豆の価格下落につながる」と懸念を表明。「米国市場の維持や、欧州市場の再開に向けて動いているアルゼンチン政府を支援する」と強調した。CIARAによれば、2016年の米国向けバイオディーゼル生産に使用された大豆は750万トンだった。

●ブラジル、エタノール輸入に関税割当制度導入＝米業界団体は反発

ブラジルのマッジ農相は8月24日、自身のツイッター上で、同国の貿易審議会（CAMEX）がエタノール輸入に対し、関税割当制度の導入を承認したと発表。これを受け、米再生可能燃料協会と穀物協会、グロース・エナジーは「失望した」との共同声明を発表した。

米メディアによると、同制度は数日以内に公式発表された後発動され、2年間実施される見通し。年間6億リットルのエタノールを無税で輸入し、超過分には20%の関税が課される。3団体は声明で、課税は、世界のエタノール産業の発展に悪影響とのブラジルの従来の見解に反するとした上で「決定が覆されるよう、強く要請し、あらゆる手段を通じて働きかけていく」と強調した。

ブラジルでは今年に入り、主に米国からのエタノール輸入が急増。課税は国内生産者の保護を目的としているが「米国からの報復を招きかねない」と実施には反対の声も根強く、調整が難航していた。

●米グッドイヤー、大豆油利用したタイヤ発売＝米大豆団体が支援

米タイヤ大手グッドイヤーは8月31日、原料に大豆油を利用したタイヤを9月に発売すると発表。同社は米大豆業界団体から資金提供を受け、長年開発を進めていた。性能の向上や、環境面のメリットをアピールし、収益拡大を目指す。

同社によると、タイヤのゴムの原料である石油の代わりに大豆油を使用することで、気温が低い冬季でもゴムが硬化せず、乾いた路面や塗れた路面でも優れたグリップ（摩擦）力を発揮する。さらに、製造する過程で他の原料と混ざりやすいため、生産効率が良く、エネルギー消費も削減できるという。価格は代表的なサイズで165ドル。当初は北米に限定して投入する。

同社のグローバル材料科学ディレクター、エリック・ミズナー氏は「絶え間ないイノベーションで、消費者の求める優れた性能のタイヤを開発できる」と強調。開発を支援してきた全米大豆委員会（USB）のジョン・モッター代表は「大豆が道路で、何ができるかを示せる」と述べ、大豆油の需要拡大と、大豆農家の収益向上に期待を示した。

◆2017年8月の価格データ

* 東京金・白金は夜間取引を含んだ価格、29日からは2018年8月限。* NY金・白金は中心限月。

日	東京金		2018.6月限		NY金		2017.12月限		ドル建て金現物			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	4492	4497	4482	4487	1275.60	1280.30	1268.40	1279.40	1268.30	1273.97	1263.55	1268.55
2	4484	4500	4478	4493	1275.20	1279.00	1268.90	1278.40	1268.30	1272.84	1262.68	1266.20
3	4496	4504	4480	4481	1272.60	1277.00	1262.90	1274.40	1265.96	1270.87	1258.20	1268.15
4	4476	4487	4473	4481	1275.30	1276.50	1259.80	1264.60	1268.26	1270.19	1254.00	1257.85
7	4480	4484	4464	4468	1264.30	1265.60	1261.30	1264.70	1258.64	1260.00	1255.30	1257.31
8	4470	4475	4466	4471	1262.90	1271.00	1257.10	1262.60	1257.20	1265.30	1251.01	1260.24
9	4469	4481	4451	4465	1266.10	1284.70	1265.90	1279.30	1261.01	1278.66	1260.56	1277.15
10	4472	4510	4464	4510	1283.20	1293.80	1280.30	1290.10	1276.66	1287.73	1273.95	1286.00
11					1292.50	1298.10	1286.70	1294.00	1286.05	1291.86	1281.15	1288.81
14	4509	4520	4498	4514	1296.40	1296.40	1284.20	1290.40	1289.00	1289.73	1278.03	1281.86
15	4513	4514	4497	4506	1287.00	1287.70	1272.70	1279.70	1281.61	1282.02	1267.23	1271.38
16	4509	4515	4498	4510	1276.90	1289.50	1273.20	1282.90	1271.48	1283.90	1267.81	1282.71
17	4510	4533	4506	4530	1290.00	1296.00	1286.40	1292.40	1283.21	1290.08	1281.81	1287.61
18	4535	4539	4511	4511	1293.80	1306.90	1289.10	1291.60	1287.80	1300.80	1283.24	1284.10
21	4520	4533	4495	4501	1289.10	1299.70	1286.20	1296.70	1283.20	1293.19	1280.20	1290.83
22	4499	4515	4498	4508	1297.10	1298.10	1287.00	1291.00	1290.79	1292.30	1281.71	1284.33
23	4504	4518	4500	4509	1290.40	1297.00	1287.90	1294.70	1284.62	1291.09	1282.15	1289.68
24	4510	4518	4503	4510	1296.00	1296.80	1289.30	1292.00	1289.86	1291.17	1284.42	1286.20
25	4509	4520	4503	4519	1291.30	1301.40	1281.30	1297.90	1285.79	1294.02	1278.54	1291.03
28	4519	4539	4498	4528	1297.60	1317.80	1297.00	1315.30	1291.78	1312.00	1291.50	1309.50
29	4593	4596	4585	4595	1320.50	1331.90	1310.60	1318.90	1317.55	1325.94	1304.73	1309.30
30	4598	4620	4590	4609	1314.80	1319.30	1310.10	1314.10	1308.87	1313.47	1304.86	1308.36
31	4610	4628	4602	4614	1314.10	1329.00	1302.30	1322.20	1308.33	1323.64	1300.35	1321.60
日	東京白金		2018.6月限		NY白金		2017.10月限		ドル建て白金現物			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	3337	3351	3329	3336	943.10	950.80	940.80	949.50	938.50	947.60	933.00	943.70
2	3338	3357	3337	3356	947.50	954.80	942.20	953.80	940.00	951.40	935.00	942.50
3	3356	3376	3353	3375	951.50	968.00	946.60	964.60	944.50	964.20	938.50	960.50
4	3371	3419	3365	3419	965.80	974.40	962.40	969.00	958.50	970.10	955.15	959.50
7	3418	3449	3402	3414	969.50	973.90	961.00	971.60	960.50	969.60	952.25	963.50
8	3414	3444	3413	3439	970.80	982.80	969.50	974.50	965.50	978.10	961.00	967.00
9	3437	3459	3426	3434	975.70	985.00	974.20	976.10	969.00	980.60	966.00	971.50
10	3441	3449	3428	3434	979.70	988.60	975.70	985.90	975.20	983.60	967.00	976.50
11					986.10	996.70	982.40	989.70	979.50	991.50	974.70	979.74
14	3437	3455	3431	3431	989.50	990.10	969.00	974.90	983.15	984.20	961.95	965.00
15	3431	3435	3400	3401	972.80	973.00	954.70	967.40	964.50	967.90	947.40	957.00
16	3407	3427	3390	3423	965.70	984.40	963.80	974.50	958.00	980.10	955.75	976.50
17	3427	3456	3424	3442	983.50	985.10	974.30	981.70	977.10	981.80	967.30	972.50
18	3448	3451	3420	3435	978.50	992.30	978.10	982.40	972.00	988.40	969.75	975.00
21	3438	3450	3419	3425	982.30	989.90	979.10	985.50	975.50	985.80	970.95	977.50
22	3426	3440	3424	3430	985.70	986.30	973.50	981.30	977.00	982.00	965.45	974.50
23	3425	3435	3413	3427	980.60	986.50	976.80	980.90	972.50	982.70	968.55	976.00
24	3426	3438	3418	3427	981.30	986.00	975.30	982.60	976.50	982.50	967.45	978.50
25	3418	3441	3415	3438	982.40	988.00	971.40	979.10	975.50	983.50	964.60	972.00
28	3439	3458	3414	3430	977.30	993.00	976.80	989.30	970.00	989.20	969.50	987.00
29	3454	3457	3446	3457	992.80	1011.50	991.00	1003.50	985.00	1006.30	983.50	992.00
30	3459	3520	3458	3506	997.30	1003.40	986.10	995.20	994.00	999.90	978.50	986.50
31	3508	3519	3483	3498	993.50	1003.50	984.20	998.50	986.00	999.80	976.50	995.00

* 東京原油は夜間取引を含んだ価格。 * NY原油は中心限月。

日	東京原油		2018.1月限		NY原油		2017.9月限 23日から10月限		ドル・円			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	35730	35810	35670	35790	50.21	50.43	48.37	49.16	110.25	110.57	109.92	110.36
2	35880	35890	34690	35130	48.80	49.65	48.55	49.59	110.34	110.97	110.26	110.75
3	35140	35530	34880	35440	49.59	49.96	48.78	49.03	110.72	110.82	109.85	110.02
4	35420	35710	34960	35000	48.95	49.64	48.50	49.58	110.03	111.03	109.82	110.66
7	34930	35650	34750	35530	49.59	49.73	48.54	49.39	110.67	110.91	110.63	110.76
8	35450	35640	35060	35510	49.31	49.79	48.86	49.17	110.74	110.82	110.24	110.34
9	35610	35790	35010	35060	49.00	49.72	48.90	49.56	110.31	110.36	109.56	110.02
10	35150	35480	35110	35460	49.68	50.22	48.35	48.59	110.03	110.17	109.14	109.22
11					48.52	48.98	47.98	48.82	109.18	109.39	108.74	109.14
14	35510	35600	34320	34600	48.79	49.16	47.43	47.59	109.15	109.79	109.03	109.65
15	34630	34820	33770	34140	47.49	47.77	47.02	47.55	109.61	110.84	109.57	110.68
16	34130	34360	33850	34290	47.72	47.99	46.67	46.78	110.66	110.94	110.02	110.19
17	34420	34490	33510	33520	46.80	47.19	46.46	47.09	110.18	110.35	109.43	109.52
18	33590	33790	33330	33550	46.93	48.74	46.78	48.51	109.55	109.59	108.60	109.22
21	33600	34710	33310	34530	48.72	48.75	47.03	47.37	109.34	109.42	108.64	108.97
22	34390	34550	33500	33950	47.45	48.03	47.20	47.64	108.96	109.64	108.85	109.56
23	34090	34290	33740	34110	47.64	48.50	47.53	48.41	109.55	109.81	108.92	109.03
24	34070	34530	33920	34510	48.36	48.43	47.06	47.43	109.03	109.60	108.84	109.56
25	34480	34670	33980	34610	47.62	47.91	47.39	47.87	109.54	109.82	109.11	109.31
28	34610	34650	34130	34470	47.89	48.20	46.15	46.57	109.15	109.40	109.01	109.26
29	34310	34640	33860	34060	46.86	46.96	45.76	46.44	109.22	109.89	108.27	109.66
30	33940	34510	33670	34510	46.31	46.72	45.84	45.96	109.66	110.43	109.53	110.30
31	34560	34730	34040	34250	45.95	47.47	45.58	47.23	110.21	110.66	109.87	109.98

* シカゴ穀物は中心限月。

日	シカゴ大豆		2017.11月限		シカゴ・コーン		2017.12月限		ユーロ・ドル			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	996.75	1000.25	969.75	971.75	383.00	385.50	375.75	376.50	1.1840	1.1844	1.1787	1.1800
2	972.25	981.00	970.50	977.50	378.25	381.25	377.75	379.00	1.1800	1.1903	1.1793	1.1854
3	975.75	976.25	955.50	960.50	379.00	381.25	375.00	377.75	1.1854	1.1892	1.1830	1.1870
4	960.50	964.25	956.00	956.75	378.00	382.50	377.50	381.00	1.1867	1.1888	1.1731	1.1769
7	962.50	972.75	959.50	969.75	382.75	387.00	382.75	386.75	1.1770	1.1813	1.1769	1.1793
8	971.50	979.75	969.25	973.25	387.00	388.75	382.50	383.75	1.1793	1.1823	1.1715	1.1754
9	973.25	977.75	967.25	973.25	383.25	386.75	383.00	386.25	1.1750	1.1763	1.1689	1.1759
10	973.25	988.50	938.50	940.25	385.50	389.00	370.25	371.00	1.1757	1.1784	1.1703	1.1772
11	941.00	946.50	937.00	945.00	373.00	375.25	371.00	374.75	1.1771	1.1844	1.1746	1.1823
14	937.75	941.00	930.75	938.25	373.00	376.75	370.00	376.25	1.1818	1.1838	1.1770	1.1779
15	938.00	939.25	922.75	924.25	374.50	374.75	367.50	368.50	1.1778	1.1792	1.1687	1.1734
16	923.50	927.75	921.00	925.25	368.25	370.00	363.25	366.50	1.1732	1.1778	1.1682	1.1767
17	927.25	935.00	925.75	933.00	366.50	367.75	363.50	364.25	1.1765	1.1789	1.1662	1.1723
18	932.75	939.00	929.50	937.75	364.00	366.25	363.50	365.75	1.1721	1.1773	1.1708	1.1761
21	935.25	938.50	931.00	936.25	364.25	364.50	360.75	363.00	1.1760	1.1827	1.1731	1.1814
22	935.00	942.75	931.25	937.50	363.00	365.25	360.00	360.00	1.1814	1.1824	1.1745	1.1762
23	945.00	947.00	932.75	938.00	360.25	362.75	355.50	355.75	1.1761	1.1822	1.1740	1.1806
24	937.25	947.75	935.75	946.50	355.50	356.75	354.50	356.25	1.1805	1.1817	1.1783	1.1800
25	945.00	947.00	942.25	944.50	356.25	357.00	352.50	353.50	1.1796	1.1940	1.1773	1.1921
28	942.50	950.50	938.00	941.25	353.25	355.00	350.50	351.00	1.1943	1.1983	1.1916	1.1976
29	940.25	943.75	934.50	937.25	350.75	351.00	347.00	348.75	1.1978	1.2069	1.1946	1.1972
30	936.50	941.00	931.50	933.25	348.25	349.25	345.00	345.50	1.1972	1.1983	1.1880	1.1883
31	932.50	948.75	932.25	945.25	345.00	358.50	344.25	357.75	1.1882	1.1912	1.1823	1.1906

* 東京一般大豆、とうもろこしは夜間取引を含んだ価格。

日	東京一般大豆		2018.6月限 16日から8月限		NYダウ工業株30種平均			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	48210	48480	47500	47500	21961.42	21990.96	21940.81	21963.92
2	47500	47900	46720	46800	22004.36	22036.10	21967.46	22016.24
3	46800	46830	46600	46800	22007.58	22044.85	21991.32	22026.10
4	46690	47060	46630	46700	22058.39	22092.81	22024.64	22092.81
7	46720	47110	46720	47000	22100.20	22121.15	22081.97	22118.42
8	47010	47300	46700	47070	22095.14	22179.11	22057.29	22085.34
9	47070	47070	46620	46620	22022.34	22057.19	21996.69	22048.70
10	46660	47000	46610	46740	21988.20	21988.20	21843.94	21844.01
11					21883.32	21911.09	21842.74	21858.32
14	46620	46880	45700	45830	21945.64	22019.23	21945.64	21993.71
15	45730	46050	45720	45950	22029.91	22038.92	21971.48	21998.99
16	45250	46610	45250	46420	22031.93	22085.71	22002.47	22024.87
17	46420	46690	46120	46690	21984.74	21984.74	21750.32	21750.73
18	46690	47100	46610	46610	21724.88	21793.35	21641.63	21674.51
21	46610	46610	45530	45980	21671.36	21718.74	21600.34	21703.75
22	45980	46040	45920	46000	21739.78	21912.83	21738.13	21899.89
23	46150	46210	46060	46060	21850.27	21866.66	21808.39	21812.09
24	46060	46270	45930	46050	21839.90	21870.11	21765.82	21783.40
25	46050	46360	45960	46350	21819.08	21906.86	21812.81	21813.67
28	46340	46400	46200	46390	21832.50	21861.49	21767.94	21808.40
29	46390	46500	45880	45880	21718.00	21879.22	21673.58	21865.37
30	45880	45900	45800	45800	21859.76	21914.26	21839.47	21892.43
31	45810	46000	45800	45800	21936.01	21985.76	21910.50	21948.10
日	東京とうもろこし		2018.7月限 16日から9月限		日経平均株価			
	始値	高値	安値	終値	始値	高値	安値	終値
1	21450	21540	21430	21510	19907.08	20000.46	19904.72	19985.79
2	21480	21480	21210	21450	20057.07	20113.73	20022.05	20080.04
3	21510	21510	21340	21450	20066.00	20070.16	19985.40	20029.26
4	21430	21500	21380	21430	19949.79	19984.51	19933.59	19952.33
7	21430	21650	21430	21600	20059.29	20085.90	20037.40	20055.89
8	21600	21780	21570	21760	20062.65	20076.80	19970.57	19996.01
9	21760	21800	21520	21610	19928.96	19945.28	19660.22	19738.71
10	21610	21700	21550	21560	19792.45	19829.88	19685.83	19729.74
11								
14	21560	21680	21090	21130	19545.58	19598.41	19486.48	19537.10
15	21130	21360	21130	21310	19689.38	19824.12	19656.91	19753.31
16	21100	21140	21010	21080	19750.55	19776.86	19719.08	19729.28
17	21120	21200	20950	21030	19707.75	19739.04	19679.37	19702.63
18	21090	21090	20800	20880	19471.27	19543.13	19433.09	19470.41
21	20830	20950	20810	20830	19509.53	19509.53	19365.65	19393.13
22	20880	21190	20750	21050	19373.11	19437.25	19361.95	19383.84
23	21050	21150	20970	21010	19547.05	19561.32	19408.47	19434.64
24	21040	21140	20700	20770	19366.36	19428.55	19351.92	19353.77
25	20780	20850	20660	20660	19401.12	19485.97	19384.37	19452.61
28	20670	20910	20600	20860	19502.23	19535.50	19420.50	19449.90
29	20890	20890	20650	20660	19319.11	19371.90	19280.02	19362.55
30	20670	20780	20590	20760	19480.98	19538.23	19435.10	19506.54
31	20790	20790	20710	20770	19591.32	19687.99	19583.11	19646.24

マンスリー予定表(経済・商品9月)

現地日付	日本時間	発表内容
6日(水)	7日	21:30 7月の米貿易収支
		23:00 8月の米ISM(供給管理協会)非製造業景況指数
		3:00 米地区連銀景況報告
7日(木)		18:00 今年第2四半期のユーロ圏GDP・確定値
		20:45 欧州中央銀行(ECB)定例理事会
		21:30 ECB記者会見
8日(金)		8:50 今年第2四半期の日本GDP・2次速報
		12:00 8月の中国貿易統計
9日(土)		10:30 8月の中国消費者物価指数・卸売物価指数(前年比) 北朝鮮・建国記念日
12日(火)		23:00 7月の米JOLTS(求人労働移動調査)求人件数 9月1日現在の米農務省・穀物需給報告 米エネルギー情報局(EIA)・石油市場月報 石油輸出国機構(OPEC)・石油市場月報
13日(水)		21:30 8月の米卸売物価指数 国際エネルギー機関(IEA)・石油市場月報
14日(木)		11:00 8月の中国小売売上高・鉱工業生産(前年比)
		21:30 8月の米消費者物価指数
15日(金)		21:30 8月の米小売売上高
		21:30 9月のニューヨーク連銀・製造業景況指数
		22:15 8月の米鉱工業生産指数・設備稼働率
		23:00 9月の米ミシガン大学消費者信頼感指数・速報値
18日(月)		18:00 8月のユーロ圏消費者物価指数・確定値(前年比)
		23:00 9月の全米住宅建設業協会(NAHB)住宅建設業者信頼感指数
19日(火)		21:30 7月の米住宅着工件数 米連邦公開市場委員会(FOMC、20日まで)
20日(水)	21日	8:50 8月の日本貿易統計
		23:00 7月の米中古住宅販売件数
		3:00 米連邦公開市場委員会(FOMC)声明発表
		3:00 米FOMC、政策金利・経済見通し発表
21日(木)	21日	3:30 イエレン米FRB議長・定例会見
		日銀政策委員会・金融政策決定会合(21日まで)
21日(木)		12:00 日銀政策委員会・金融政策決定会合
		21:30 9月のフィラデルフィア連銀・製造業景況指数
		23:00 8月の米景気先行指数
22日(金)		22:45 9月の米製造業PMI(購買担当者景況指数)・速報値 OPEC・非OPEC共同閣僚監視委員会
24日(日)		ドイツ連邦議会総選挙
26日(火)		22:00 7月のS&P/ケース・シラー米住宅価格指数
		23:00 8月の米新築住宅販売件数
		23:00 9月の米消費者信頼感指数
27日(水)		21:30 8月の米耐久財受注
28日(木)		21:30 今年第2四半期の米国内総生産(GDP)・確定値
29日(金)		8:30 8月の全国消費者物価指数(前年比、生鮮食品除く)
		18:00 9月のユーロ圏消費者物価指数・速報値(前年比)
		21:30 8月の米個人消費支出・個人所得
		22:45 9月のシカゴ購買部協会景況指数
		23:00 9月の米ミシガン大学消費者信頼感指数・確定値 米農務省・四半期穀物在庫報告
30日(土)		10:00 9月の中国PMI(製造業購買担当者景況指数)
		10:45 9月の中国PMI(製造業購買担当者景況指数、財新・マークイット)

(注) 上記の予定は予告なく変更される事があります。

重要事項のご説明

※本資料は、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性・信頼性を保証するものではありません。また、本資料は情報提供を目的としており、相場見通し等の確実性を保証するものではありません。なお、本レポートに記載されている内容の著作権は、原則として、当社およびその他情報提供者に帰属します。著作権法により、当社およびその他情報提供者に無断で転用、複製、再配信、ウェブサイトへ掲載等することはできません。ご利用になりたい場合は、後述のお問い合わせ先にご連絡ください。

※商品先物取引は元本及び利益が保証されるものでなく、取引額が当社必要証拠金に比べて最高でおよそ40倍と大きいため、損失の額がお預り証拠金の額を上回るリスクもあります。又、相場変動や日数の経過によって追加預託が必要になる場合もあります。お取引を始める前に契約締結前交付書面をよくお読みになり、取引内容を十分ご理解の上、ご自身の判断と責任によりお取引下さい。

※ 当社必要証拠金の額は1枚当たり最高で**100,000**円、手数料は1枚当たり最高で**24,840**円(税込)となりますが、相場の変動によって変更される場合もあります。詳しくはその都度お問い合わせ下さい。
(平成29年9月1日現在)

※ 当社お客様相談窓口

(東京本社) **TEL0120-770-266**

※ 日本商品先物取引協会相談センター **TEL03-3664-6243**

※当社の企業情報は本・支店及びHP、並びに日本商品先物取引協会のHPでご覧頂けます

当社HPアドレス <http://www.dai-ichi.co.jp/>

日本商品先物取引協会 <http://www.nisshokyo.or.jp/>

※ 当資料記載の情報内容およびお取引に関するお問い合わせは、お取引店(担当者)またはフューチャーズ24 (TEL**03-3462-8056**) までご一報ください。土・日・祝を除く毎日24時間体制でお応えしております。

※ 他の当社資料をお求めの場合は、

フリーダイヤル **TEL0120-431-561**

または、HPの資料請求フォーム <http://www.dai-ichi.co.jp/present/>
からお申込みください。

加入協会／日本商品先物取引協会 (一社)金融先物取引業協会

商品先物取引業者 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第279号

第一商品株式会社

本社所在地 150-0045 東京都渋谷区神泉町9-1

代表電話番号 **TEL03-3462-8011**